

# 紅葉をキレイに撮るテクニック

NAVERまとめ より

1. 思い切り寄ってみよう（きれい！と思ったところを大胆にアップ！）



2. 光を知ろう



## 順光

『色鮮やかで、見た目に近い自然な感じ』が出せます。  
一方で、『立体感のない、平凡な写真』になりがちです。

## サイド光

被写体の横・斜横から光が当たっている状態です。木々に影が出るので、『風景に立体感』が出ます

## 逆光

光が葉を透かして、『輝くような写真』を撮ることができます。

ベストな光の状態は、夕方のやわらかい日の差す時間帯。少しオレンジ色を帯びた太陽光が紅葉の色をよりいっそう色づけます。

3. ホワイトバランスと”『曇天』”のススメ（彩度を上げる）



## ホワイトバランス：太陽光

画面全体が青みを帯びています。  
「寒さ」や「静けさ」を表現する場合にはあえてこれで撮っても大丈夫です

## ホワイトバランス：曇天

より紅葉の色を出したいならこちらを。  
天候に合わせてマニュアルでセッティングしてみよう。

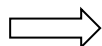
カメラによっては「シーン」の設定に「新緑/紅葉」などがあります。

#### 4. 『露出』で雰囲気を出せ！

カメラは画面全体から適性と思われる露出を割りだしてくれますが、一部を強調したい時はそれが必ずしも適性とは限りません。あえて黒くつぶれた部分を生かして、主役を引き立たせるのも、ひとつの方法です。一般的に少し暗めの方が色が良く出ます。



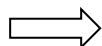
補正なし




露出補正 -0.7



補正なし



露出補正 -0.7

補正方法1：  印のボタンを押してから ◀ ▶ で補正值を変更します。

補正方法2：シャッターを半押しした時にピンとや露出が決まり、スクリーンに表示されます。すこし明る過ぎるかな？とおもったら、画面の中の明るめのポイントにカメラを向けてもう一度半押しします。そうすると全体が少し暗くなります。良ければそのままシャッターを押し切ります。

5. 直接的に木が写っていないくとも、落葉や水たまりに映ったものなど間接的に紅葉を表現できる場合もあります。紅葉の最盛期を過ぎて、秋の風情は至る所にあります。

